



ユーザーガイド

サウンドバー

SR-C30A

JA

目次

はじめに 5

本説明の記載内容に関するお知らせ	5
本製品の特長	6
同梱品を確認する	9

各部の名称 11

サウンドバーの各部名称（前面/上面）	11
サウンドバーの各部名称（背面）	13
サブウーファースの各部名称	14
リモコンの各部名称	15

ご使用前の準備 17

準備の流れ	17
準備に関する注意事項	19
本製品を設置する	22
テレビを接続する	24
テレビとサウンドバーの接続方法	24
テレビを付属のケーブルだけで接続する	27
テレビをHDMIケーブル（市販品）で接続する	29
オーディオ機器を接続する	34
リモコンを準備する	39
電源をオン/オフする	40

再生 41

再生時の基本操作	41
----------------	----

お好みの音に調整する	43
本製品のサウンド機能について	43
サラウンドで再生する	45
ステレオで再生する	46
サブウーファーの音量を調節する	47
人の声を明瞭に再生する（クリアボイス）	48
豊かな低音を楽しむ（バスエクステンション）	49
Bluetooth®機器の音声を聴く	50

その他の機能 53

ランプの明るさを調節する（ディマー）	53
テレビのリモコンでサウンドバーを操作する（HDMIコントロール機能）	54
二ヶ国語放送の音声を切り替える	55
サウンドバーの設定や音声信号の情報を確認する	56
スマートフォンアプリで操作する	57

設定 58

HDMIコントロール機能のオン/オフを切り替える	58
自動スタンバイ機能のオン/オフを切り替える	59
チャイルドロック機能のオン/オフを切り替える	60
Bluetoothスタンバイ機能のオン/オフを切り替える	61
Bluetooth 機能のオン/オフを切り替える	62
ダイナミックレンジの圧縮レベルを設定する	63
設置方法に適した音の周波数特性に設定する	64
設定を初期化する	66

よくあるご質問 67

困ったときに最初に確認すること	67
困ったときは（電源/動作全般）	68
困ったときは（音声）	76
困ったときは（Bluetooth®）	81

困ったときは（アプリ） 83

その他のご質問 84

 ブルーレイディスクプレーヤーなどのAV機器を接続したい 84

 待機時消費電力を最小にしたい 85

 リモコンの電池に関する注意事項 86

 リモコンの電池を交換したい 87

 サウンドバーとサブウーファーが自動でペアリングされなかったときの対応 88

 サウンドバーをリセットしたい 90

付録 **91**

主な仕様 91

対応しているデジタル音声信号フォーマット 94

主なランプ表示一覧 95

サードパーティー製ソフトウェアプログラムについて 100

サポート窓口一覧 101

はじめに

本説明の記載内容に関するお知らせ

- ・ 本説明では注意事項などを次のように分類しています。

- ・ **警告**

「死亡する可能性または重傷を負う可能性が想定される」内容です。

- ・ **注意**

「傷害を負う可能性が想定される」内容です。

- ・ **ご注意**

製品の故障、損傷や誤動作、データの損失を防ぐため、また環境保護のため、お守りいただく内容です。

- ・ **お知らせ**

使用時の注意点や機能の制約、知っておくと便利な補足情報です。

- ・ 掲載されているイラストや画面は、すべて説明のためのものです。
- ・ 記載されている会社名および商品名等は、各社の登録商標または商標です。
- ・ 各種スマートフォンやタブレット機器を総称して「モバイル機器」と表記しています。必要な場合は、説明文中で携帯端末の種類を特定しています。
- ・ 本説明は日本国内仕様の製品について説明しています。
- ・ [検索用タグ]は、検索のためのキーワードです。「スタートアップガイド」から、「ユーザーガイド」へのリンクに使用しています。

お知らせ

この製品には、「安全上のご注意」と「スタートアップガイド」が同梱されています。はじめに「安全上のご注意」をご覧ください。

本製品の特長

本製品はご家庭のテレビで手軽に臨場感豊かなサラウンドサウンドをお楽しみいただくためのテレビ用バー型スピーカーです。

■ テレビに接続するだけでサラウンドサウンドを実現



関連リンク

「サラウンドで再生する」 (45ページ)

■ Bluetooth機器の音声を簡単再生



はじめに > 本製品の特長

関連リンク

「Bluetooth®機器の音声を聴く」 (50ページ)

■ シチュエーションに合わせたサウンドを実現

クリアボイス

全体の音量やサウンドの個性を変えることなく、再生音の中からセリフやナレーションなどの人の声の音像にフォーカスして強調する機能です。人の声だけが聴きやすくなり、人の声の明瞭な定位感も得られます。

- ・「人の声を明瞭に再生する（クリアボイス）」 (48ページ)

バスエクステンション

低音部の音像にフォーカスして増強する機能です。全体のサウンドのバランスを崩すことなく、存在感がある、豊かな低音の演奏を楽しめます。

- ・「豊かな低音を楽しむ（バスエクステンション）」 (49ページ)

■ さまざまな利用シーンに対応した複数の操作方法

サウンドバー本体の操作部、付属のリモコンに加えて、テレビのリモコン、専用のスマートフォンアプリ「Sound Bar Remote」でもサウンドバーを操作できます。

HDMIコントロール機能、オーディオリターンチャンネル（ARC）

HDMIコントロール機能対応のテレビの場合、テレビのリモコンでサウンドバーの基本機能を操作できます。オーディオリターンチャンネル（ARC）対応テレビの場合、テレビとサウンドバーをHDMIケーブル1本で接続できます。

- ・「テレビのリモコンでサウンドバーを操作する（HDMIコントロール機能）」 (54ページ)
- ・「テレビをHDMIケーブル（市販品）で接続する」 (29ページ)

専用スマートフォンアプリ「Sound Bar Remote」

お使いのモバイル機器からも、サウンドバーを操作できます。現在のサウンドバーのサウンドモードやサウンド設定、音量などを確認することもできます。

■ ヤマハエコプロダクツ認定



ヤマハエコラベルは、優れた環境性能を備えた製品として、ヤマハグループが認定するマークです。

はじめに > 本製品の特長

本製品は、先進的な省電力設計によりスタンバイ時の消費電力1.8 W以下を実現しています。

はじめに > 同梱品を確認する

同梱品を確認する

本製品の同梱品は次のとおりです。同梱品がすべて揃っていることを確認してください。

■ 製品本体

- ・ サウンドバー (SR-CUC30A)



- ・ サブウーファー (SR-WSWC30A)



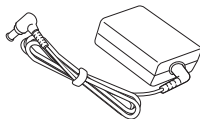
■ 付属品

- ・ リモコン



* リチウムコイン電池 (CR2025) はセット済みです。

- ・ ACアダプター (型番: ANAD-420FIOT-B)



- ・ 電源コード (2本)



- ・ 光デジタルケーブル



はじめに > 同梱品を確認する

- ・ 滑り止めパッド (4個/1シート)



* サブウーファーの底面に貼ります。

- ・ 取付用テンプレート



* サウンドバーを壁に設置するときに使います。

- ・ スペーサー (A: 2個、B: 2個/1シート)



* サウンドバーを壁に設置するときに使います。

- ・ スタートアップガイド



- ・ 安全上のご注意



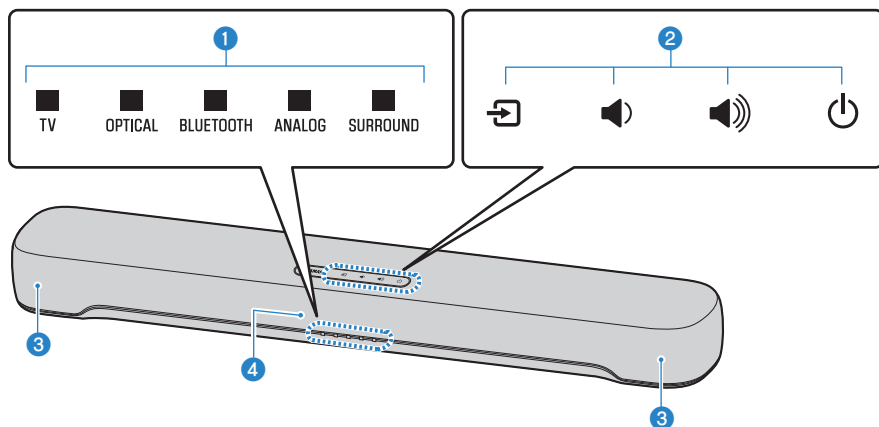
- ・ 保証書



各部の名称

サウンドバーの各部名称（前面/上面）

サウンドバーの前面/上面の名称と機能について説明します。



① 表示部

ランプが点滅/点灯することで、操作や設定状況を表示します。通常の再生中は、次のように設定状況を表示します。

TV、OPTICAL、BLUETOOTH、ANALOG: 選択された再生機器

SURROUND: サラウンド再生（点灯）/ステレオ再生（消灯）

お知らせ

本説明ではランプの消灯/点灯/点滅を次のような図で表わしています。



② 操作部

指先でマークに触れて、サウンドバーを操作します。

◀▶（入力切換）：再生する機器を選びます（41ページ）。

🔊/🔊（音量+/-）：音量を調節します（41ページ）。

⏻（電源）：サウンドバーの電源をオン/オフします。

各部の名称> サウンドバーの各部名称（前面/上面）

③ スピーカー

④ リモコン受光部

お知らせ

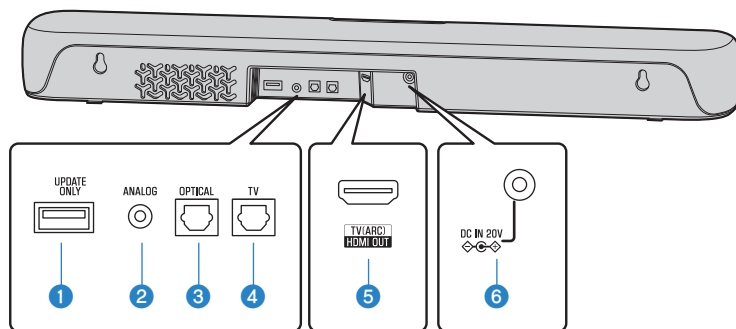
- 意図しない動作を防ぐため、操作部の上にものを置かないでください。
チャイルドロック機能をオンにすると、誤操作を防止できます。
- ランプの明るさをDIMボタンで調節できます。

関連リンク

- 「チャイルドロック機能のオン/オフを切り替える」（60ページ）
- 「ランプの明るさを調節する（ディマー）」（53ページ）
- 「主なランプ表示一覧」（95ページ）

サウンドバーの各部名称（背面）

サウンドバーの背面の名称と機能について説明します。



① UPDATE ONLY（アップデート専用）端子

サウンドバーのファームウェアをアップデートするときに使います。

詳細については、ファームウェアに添付される説明書をご覧ください。

② ANALOG入力端子（34ページ）

③ OPTICAL（光デジタル）入力端子（34ページ）

④ TV入力端子（24ページ）

⑤ HDMI OUT/TV (ARC)端子（29ページ）

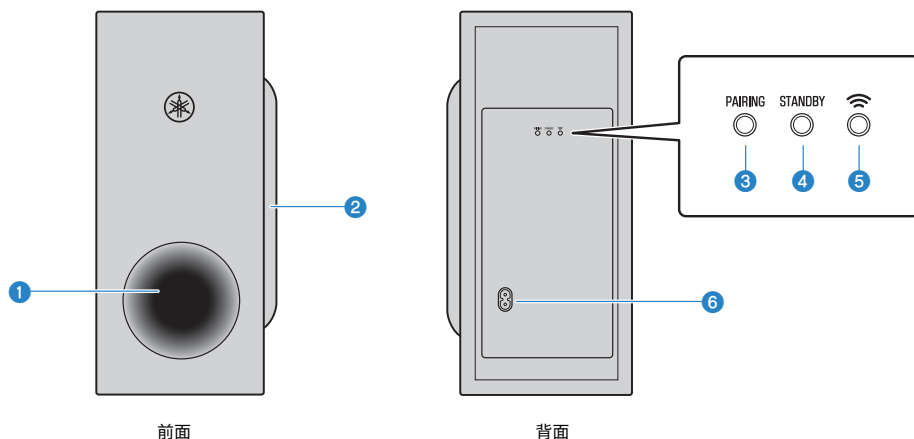
⑥ DC IN（20V）端子

関連リンク

- ・「サウンドバーの各部名称（前面/上面）」（11ページ）
- ・「リモコンの各部名称」（15ページ）

サブウーファーの各部名称

サブウーファーの名称と機能について説明します。



① バスレフポート

② スピーカー

③ PAIRING（ペアリング）ボタン

サウンドバーとサブウーファーを手動でペアリングするとき に使います（88ページ）。

④ STANDBY（スタンバイ）ランプ

サブウーファーの状態を表示します（77ページ）。

⑤ ㊦ランプ

サウンドバーとサブウーファーが接続すると点灯します（40ページ）。

⑥ AC電源入力端子

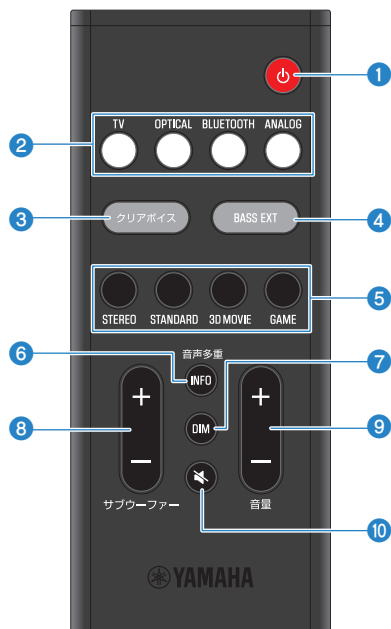
サブウーファーの電源コードを接続します。

関連リンク

「主なランプ表示一覧」（95ページ）

リモコンの各部名称

リモコンの名称と機能について説明します。



① ㊦（電源）ボタン

サウンドバーの電源をオン/オフします（40ページ）。

② 入力ボタン

再生する音声ソースを選びます（41ページ）。

- TVボタン：テレビの音声
- OPTICALボタン：OPTICAL入力端子に接続した機器の音声
- BLUETOOTHボタン：Bluetooth機器の音声
- ANALOGボタン：ANALOG入力端子に接続した機器の音声

③ クリアボイスボタン

クリアボイス機能のオン/オフを切り替えます（48ページ）。

④ BASS EXTボタン

バスエクステンション機能のオン/オフを切り替えます（49ページ）。

5 サウンドモードボタン

お好みのサウンドモードに切り替えます（43ページ）。

- STEREO
- STANDARD
- 3D MOVIE
- GAME

6 INFOボタン

再生中の音声信号の種類やサウンドバーの設定を表示します（56ページ）。

音声多重ボタン

ボタンを5秒以上押して、地上デジタル/BS デジタル放送（モノラル多重音声）の主音声/副音声を切り替えます（55ページ）。

7 DIMボタン

サウンドバーの表示部（ランプ）の明るさを切り替えます（53ページ）。

8 サブウーファー（+/-）ボタン

サブウーファーの音量を調節します（47ページ）。

9 音量（+/-）ボタン

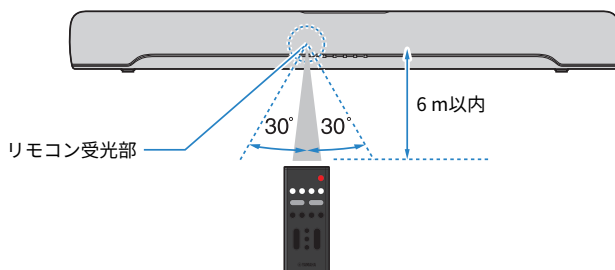
サウンドバーの音量を調節します（41ページ）。

10 ㊄（消音）ボタン

消音します（41ページ）。もう一度押すか、音量（+/-）ボタンを押して消音を解除します。

お知らせ

次の範囲内で操作してください。



関連リンク

「サウンドバーの各部名称（前面/上面）」（11ページ）

ご使用前の準備

準備の流れ

サウンドバーを設置して、テレビと接続します。

1 サウンドバーとサブウーファーを設置する。

「本製品を設置する」 (22ページ)

2 テレビとサウンドバーを接続する。

接続するテレビが搭載する端子や、お使いになる機能に合わせてサウンドバーを接続してください。

「テレビを付属のケーブルだけで接続する」 (27ページ)

「テレビをHDMIケーブル (市販品) で接続する」 (29ページ)

3 (必要な場合のみ) オーディオ機器を接続する。

「オーディオ機器を接続する」 (34ページ)

4 リモコンを準備する。

「リモコンを準備する」 (39ページ)

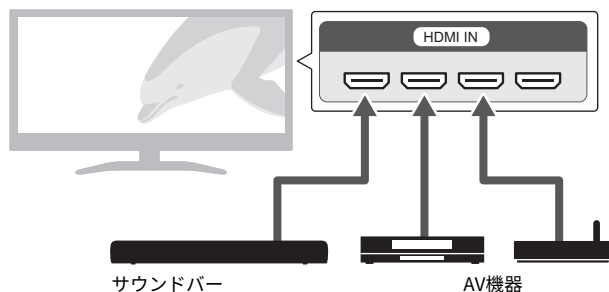
5 電源をオンにする。

サウンドバーの電源をオンにすると、サブウーファーの電源も連動してオンになります。

「電源をオン/オフする」 (40ページ)

お知らせ

- ブルーレイディスクプレーヤーやメディアストリーミング端末などのAV機器は、テレビのHDMI入力端子に接続します。



- テレビやAV機器の音声を出力する場合は、次のように入力を設定してください。
 - ・サウンドバーの入力：TV
 - ・テレビの入力切替：再生するAV機器
- ARC（オーディオリターンチャンネル）とは、テレビのHDMI入力端子から音声信号を送信する機能です。光デジタルケーブルで接続したときと同じ品質の音声をお楽しみいただけます。

準備に関する注意事項

サウンドバーを設置して他の機器を接続する前に、次の注意事項を必ずお読みください。注意事項は必ずお守りください。

■ 設置時の注意事項



警告

- ユーザーガイドで指示された方法で設置してください。落下や転倒して、けがや破損の原因になります。
- 設置後は必ず安全性を確認してください。定期的に安全点検を実施してください。落下や転倒して、けがや破損の原因になります。
- 浴室や雨天時の屋外など湿気が多いところや水がかかるところで使用しないでください。本製品の上に花瓶や薬品など液体の入ったものを置かないでください。内部に水などの液体が入ると、火災や感電、または故障の原因になります。
- 本製品の近くで、火気を使用しないでください。火災の原因になります。
- 医療機器の近くなど電波の使用が制限された区域で使用しないでください。本製品が発する電波により、医療用電気機器の動作に影響を与えるおそれがあります。



注意

- 不安定な場所や振動する場所に置かないでください。本製品が落下や転倒して、けがや故障の原因になります。
- 本製品を設置する際は、放熱を妨げないようにしてください。機器内部に熱がこもり、火災や故障、誤動作の原因になります。
- 地震など災害が発生した場合は本製品に近づかないでください。本製品が転倒または落下して、けがの原因になります。

ご注意

- 塩害や腐食性ガスが発生する場所、油煙や湯気の多い場所に設置しないでください。故障の原因になります。
- 本製品のスピーカーユニットや布の部分を強く押さないでください。
- 磁気に弱いもの（ハードディスクドライブ、磁気カードなど）を周囲に置かないでください。サウンドバーが発する磁気の影響で、置いたもの自体や収録されたデータが破損するおそれがあります。
- 直射日光のあたる場所やストーブの近くなど極端に温度が高くなるところ、逆に温度が極端に低いところ、また、ほこりや振動の多いところで使用しないでください。本製品のパネルが変形したり、内部の部品が故障したり、動作が不安定になったりする原因になります。
- 無線機能を使用する場合は、金属製の壁や机、電子レンジ、他の無線ネットワーク機器の近くへの設置を避けてください。遮蔽物があると通信可能距離が短くなる場合があります。
- サウンドバーとサブウーファーを直接重ねないでください。また、本製品の上や下にほかのAV機器を直接重ねないでください。振動により機器が故障することがあります。
- サブウーファーは次のように設置しないでください。低音が不足するおそれがあります。
 - ・スピーカーユニット（布の部分）を壁に密着させる
 - ・バスレフポートをふさぐ
- サウンドバー本体とサブウーファーの間に金属製の家具などを設置しないでください。無線通信が途切れるおそれがあります。

■ 接続時の注意事項



- 電源は本製品に表示している電源電圧で使用してください。誤って使用すると、火災、感電または故障の原因になります。
- 電源コードとACアダプターは、必ず付属品を使用してください。付属の電源コードとACアダプターをほかの機器に使用しないでください。誤って使用すると、火災、感電または故障の原因になります。
- ぬれた手で電源プラグを抜き差ししないでください。また、ぬれた手で本製品を扱わないでください。感電や故障の原因になります。
- 落雷のおそれがあるときは、電源プラグやコードに触らないでください。感電の原因になります。
- 電源プラグは、目に見える位置で、手が届く範囲のコンセントに接続してください。万一の場合、電源プラグを容易に引き抜くためです。電源を切った状態でも電源プラグをコンセントから抜かないかぎり電源から完全に遮断されません。
- 長期間使用しないときは、必ずコンセントから電源プラグを抜いてください。火災や故障の原因になります。
- 電源プラグを定期的に確認し、ほこりが付着している場合はきれいに拭き取ってください。火災または感電の原因になります。



注意

- 電源プラグを差し込んだとき、ゆらみがあるコンセントを使用しないでください。火災、感電、やけどの原因になります。
- 電源プラグを抜くときは、電源コードを持たずに、必ず電源プラグを持って引き抜いてください。電源コードが破損して、感電や火災の原因になることがあります。
- 電源プラグは、コンセントに根元まで、確実に差し込んでください。差し込みが不十分のまま使用すると感電したり、プラグにほこりが堆積したりして火災ややけどの原因になります。

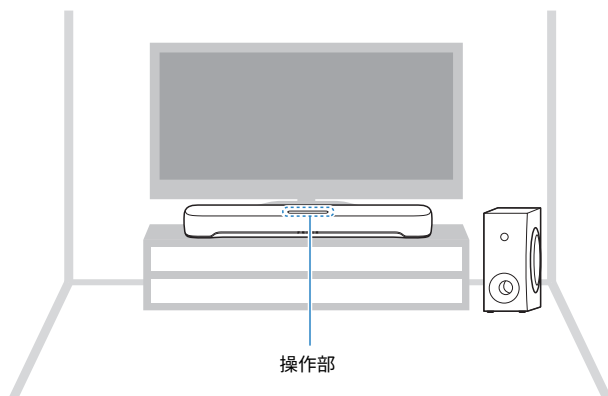
ご注意

- 外部機器を接続する場合は、各機器の取扱説明書をよく読み、説明に従って接続してください。説明に従って正しく取り扱わない場合、故障の原因になります。
- 業務用機器とは接続しないでください。本製品は民生用の機器と接続する目的で設計されています。業務用機器に接続すると、故障の原因になります。

本製品を設置する

- 設置する前に、次の注意事項をご覧ください。
 - ・「準備に関する注意事項」 (19ページ)

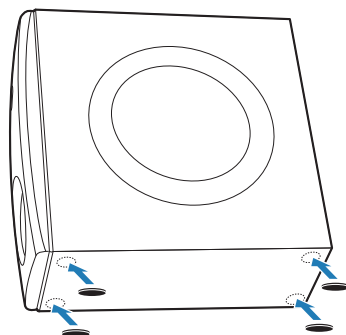
次の図のように設置します。



■ サブウーファーの設置

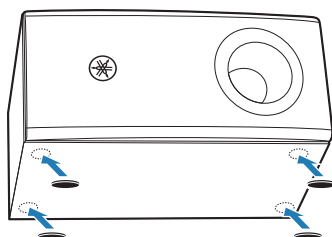
サブウーファーは縦置き、横置きの2つの設置方法があります。設置方法に応じて、サブウーファーの底面に付属の滑り止めパッドを貼ってご使用ください。

縦置きの場合



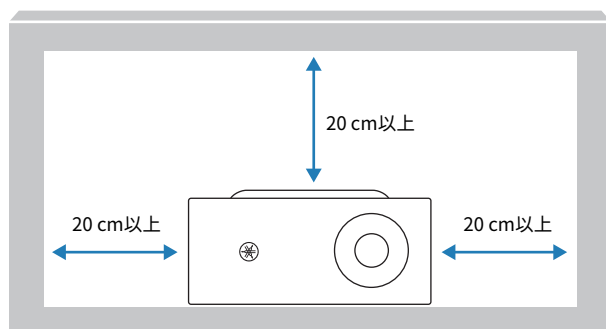
横置きの場合

[検索用タグ]#Q01 Subwoofer horizontal



ご注意

- サブウーファーをラックの中に設置する場合は、放熱および低音の出力を妨げないように、次のスペースを確保してください。



お知らせ

- サウンドバーを壁に取り付ける場合は、お買い上げの販売店または専門の施工会社に設置を依頼してください。詳しくは、「壁掛け施工ガイド」をご覧ください。
https://manual.yamaha.com/av/sb/wallmount/src20a_c30a/
- 設置方法を変更した場合は、周波数特性を切り替えてください。それぞれの設置状態に適したサウンドになります（64ページ）。

関連リンク

「設置方法に適した音の周波数特性に設定する」（64ページ）

テレビを接続する

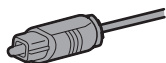
テレビとサウンドバーの接続方法

接続するテレビが搭載する端子や、お使いになる機能に合わせて接続方法をお選びください。

■ テレビに光デジタル音声出力端子があり、サウンドバーを本製品に付属のリモコンで操作する場合

付属の光デジタルケーブルで接続します。

ケーブル：光デジタルケーブル（付属品）



接続するテレビの端子：光デジタル音声出力端子



接続方法

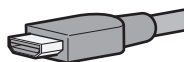
「テレビを付属のケーブルだけで接続する」（27ページ）

■ サウンドバーをテレビのリモコンで操作する場合

HDMIケーブルで接続します。市販のARC（オーディオリターンチャンネル）機能対応のHDMIケーブルをご用意ください。ARC非対応のHDMI入力端子に接続する場合は、付属の光デジタルケーブルも接続します。

ARC（オーディオリターンチャンネル）とは、テレビのHDMI入力端子から音声信号を送信する機能です。ARC対応のHDMI入力端子には、「ARC」の表示があります。

ケーブル：HDMIケーブル（市販品）、光デジタルケーブル（付属品）



ARC非対応のHDMI入力端子に接続する場合



接続するテレビの端子：HDMI入力端子（ARC対応）、光デジタル音声出力端子

ご使用前の準備 > テレビを接続する



ARC非対応のHDMI入力端子に接続する場合



接続方法

「テレビをHDMIケーブル（市販品）で接続する」（29ページ）

■ テレビに光デジタル音声出力端子がなく、ARC（オーディオリターンチャンネル）対応のHDMI入力端子を搭載しているテレビの場合

HDMIケーブルで接続します。市販のARC機能対応のHDMIケーブルをご用意ください。

ケーブル：HDMIケーブル（市販品）



接続するテレビの端子：HDMI入力端子（ARC対応）



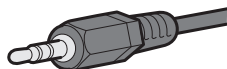
接続方法

「テレビをHDMIケーブル（市販品）で接続する」（29ページ）

■ テレビに光デジタル音声出力端子がなく、ARC（オーディオリターンチャンネル）対応のHDMI入力端子がないテレビの場合

アナログ音声出力端子またはヘッドフォン端子があるテレビの場合は、アナログ端子に接続します。市販の3.5 mmステレオミニプラグのアナログオーディオケーブルをご用意ください。

ケーブル：3.5 mmステレオミニプラグケーブル（市販品）



接続するテレビの端子：アナログ音声出力端子/ヘッドフォン端子

ご使用前の準備 > テレビを接続する

OUTPUT



接続方法

「オーディオ機器を接続する」 (34ページ)

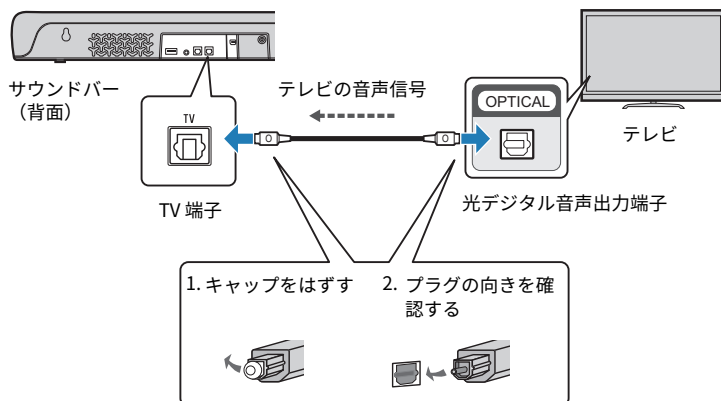
テレビを付属のケーブルだけで接続する

- 接続する前に、次の注意事項をご覧ください。
 - 「準備に関する注意事項」 (19ページ)

付属の光デジタルケーブルを使って、テレビを接続します。

テレビの音声信号をサウンドバーに伝送します。

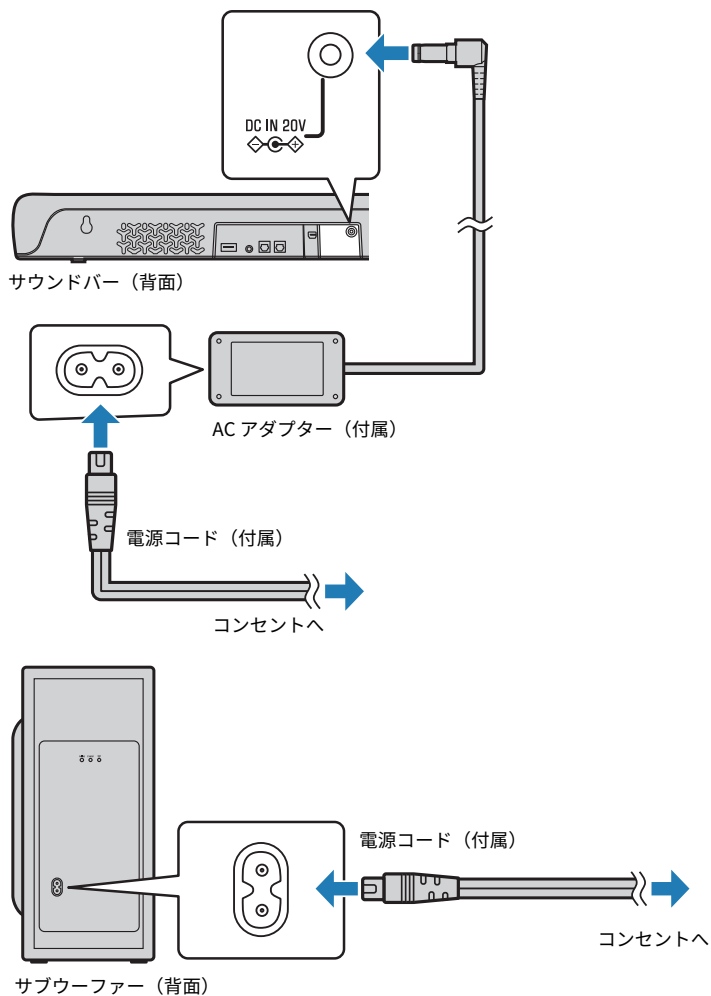
1 テレビとサウンドバーを接続する。



使用するケーブル

  光デジタルケーブル (付属)

2 サウンドバーとサブウーファーを電源に接続する。



お知らせ

AV機器（メディアストリーミング端末など）はテレビに接続してください。

テレビをHDMIケーブル（市販品）で接続する

- 接続する前に、次の注意事項をご覧ください。
 - 「準備に関する注意事項」（19ページ）

HDMIケーブルでテレビを接続すると、HDMIコントロール機能によりテレビのリモコンでサウンドバーを操作できます。

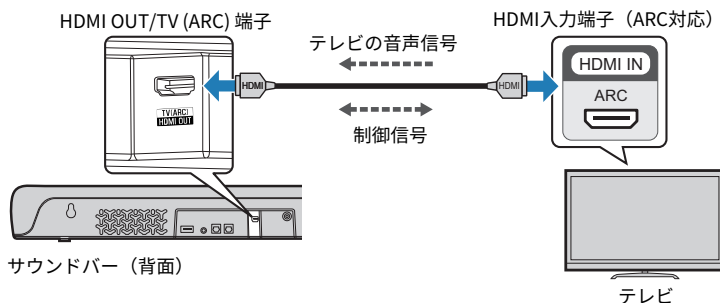
■ ARC（オーディオリターンチャンネル）対応のHDMI入力端子に接続する場合

ARC対応のHDMIケーブル（市販品）を使って、テレビを接続します。

テレビの音声信号と、テレビのリモコンでサウンドバーを操作するための制御信号を伝送します。

1 テレビとサウンドバーを接続する。

テレビのオーディオリターンチャンネル対応HDMI入力端子（「ARC」などの表示のある端子）に接続してください。

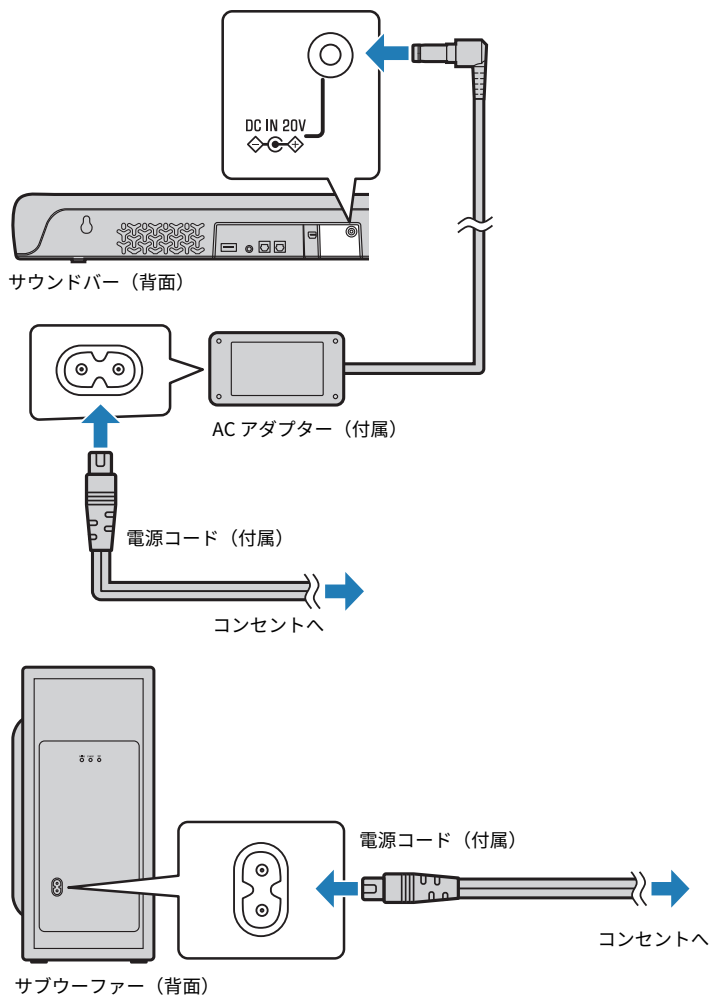


使用するケーブル



HDMIケーブル（市販）

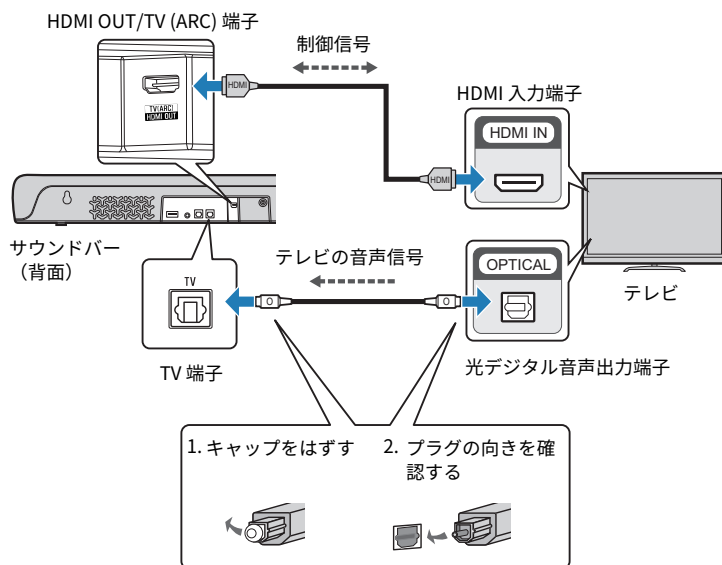
2 サウンドバーとサブウーファーを電源に接続する。



■ ARC非対応のHDMI入力端子に接続する場合

HDMIケーブル（市販品）と付属の光デジタルケーブルを使って、テレビを接続します。光デジタルケーブルは、テレビの音声信号をサウンドバーに伝送します。HDMIケーブルは、テレビのリモコンでサウンドバーを操作するための制御信号を伝送します（HDMIコントロール機能）。HDMIコントロール機能を使用しない場合は、HDMIケーブルの接続は不要です。

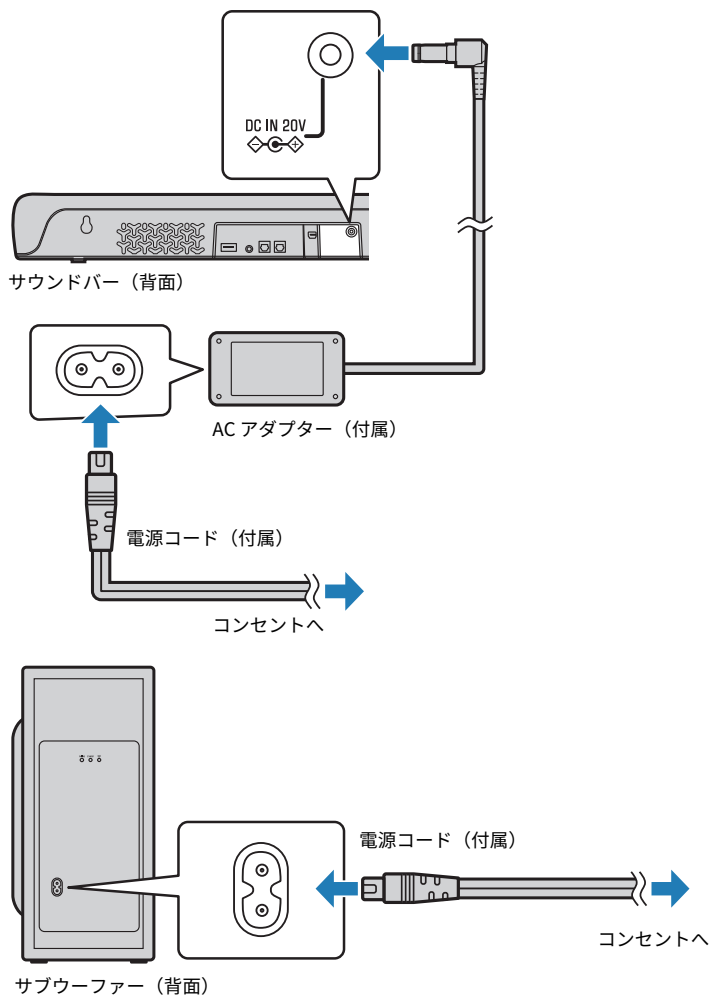
1 テレビとサウンドバーを接続する。



使用するケーブル

-   光デジタルケーブル (付属)
-   HDMIケーブル (市販)

2 サウンドバーとサブウーファーを電源に接続する。



お知らせ

- ARC対応のHDMI入力端子に接続した場合、サウンドバーのHDMIコントロール機能をオンにしてください。初期設定は「オン」です。
- HDMIロゴ入りのHDMIケーブル（19ピン）をお使いください。
- 信号の劣化を防ぐため、なるべく短いHDMIケーブルをお使いください。
- AV機器（メディアストリーミング端末など）はテレビに接続してください。

ご使用前の準備 > テレビを接続する

関連リンク

「HDMIコントロール機能のオン/オフを切り替える」 (58ページ)

オーディオ機器を接続する

- 接続する前に、次の注意事項をご覧ください。
 - ・「準備に関する注意事項」 (19ページ)

音声出力端子がある機器をサウンドバーに直接接続できます。

■ 光デジタル音声出力端子がある機器

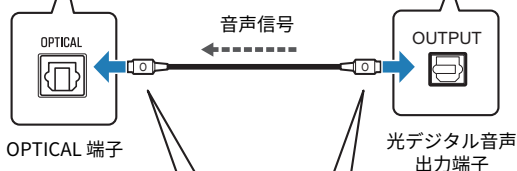
光デジタルケーブルを使って、オーディオ機器を接続します。

1 サウンドバーとオーディオ機器を接続する。

サウンドバー (背面)



オーディオ機器



1. キャップをはずす

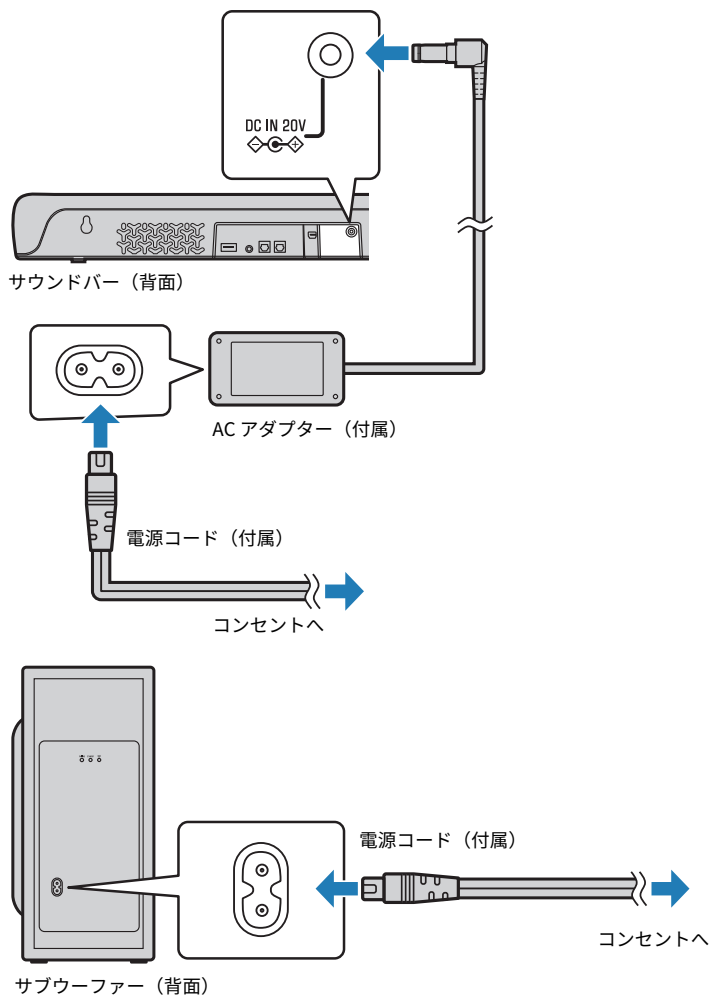
2. プラグの向きを確認する



使用するケーブル

 光デジタルケーブル (付属)

2 サウンドバーとサブウーファーを電源に接続する。



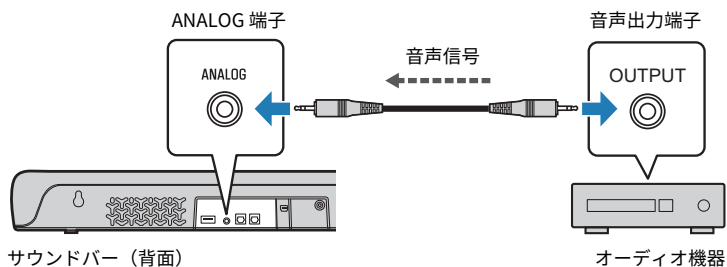
お知らせ

映像出力がある機器を接続する場合は、映像出力端子をテレビの映像入力端子に直接接続してください。

■ アナログ音声出力端子がある機器

3.5 mmステレオミニプラグケーブル（市販品）を使って、オーディオ機器を接続します。

1 サウンドバーとオーディオ機器を接続する。

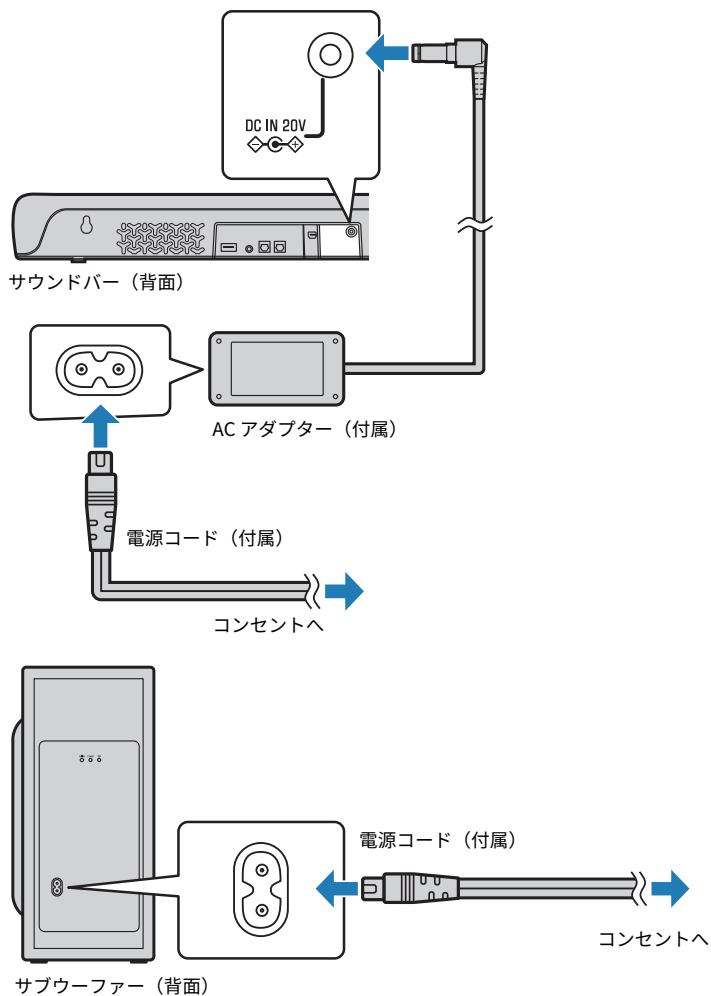


使用するケーブル



3.5 mmステレオミニプラグケーブル（市販）

2 サウンドバーとサブウーファーを電源に接続する。



注意

- ANALOG端子に接続した機器側で音量調節ができる場合は、テレビと同程度の音量になるように調節してください。

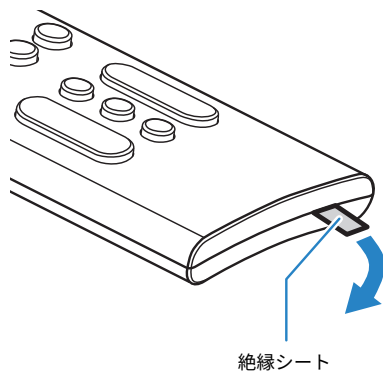
ご使用前の準備 > オーディオ機器を接続する

お知らせ

映像出力がある機器を接続する場合は、映像出力端子をテレビの映像入力端子に直接接続してください。

リモコンを準備する

電池の絶縁シートを引き抜いてから、リモコンを使用してください。



関連リンク

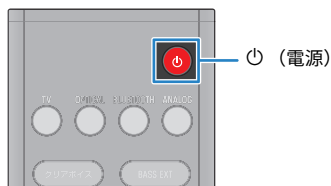
[「リモコンの電池を交換したい」](#)（87ページ）

電源をオン/オフする

サウンドバーの電源をオン/オフします。

1 電源ボタンを押す。

ボタンを押すたびにサウンドバーの電源をオン/オフできます。



電源をオンにすると、いったんすべてのランプが点灯したあと、設定状態に応じてランプが点灯します（通常表示）。



電源をオフにすると、ランプが消灯します。

お知らせ

- サウンドバーの操作部の電源（電源）でも同様に操作できます。
- 電源をオンにすると、サウンドバーとサブウーファーは自動的に無線接続されます。接続が完了するとサブウーファー背面の無線接続ランプが点灯します。



再生

再生時の基本操作

再生する場合の基本的な操作方法を説明します。

■ 入力音声の選択

次の入力ボタンを押します。

- ・ TVボタン：テレビの音声
- ・ OPTICALボタン：OPTICAL端子に接続した機器の音声
- ・ BLUETOOTHボタン：Bluetooth機器の音声
- ・ ANALOGボタン：ANALOG端子に接続した機器の音声



選択した入力のランプが点灯します。



いずれかが点灯

■ 音量の調節

音量（+/-）ボタンを押して、音量を調節します。



音量に応じて点灯するランプの数が増減します。



音量が上がる (+)

音量が下がる (-)

テレビのスピーカーとサウンドバーの両方から音声が出力されている場合は、テレビを消音してください

一時的にサウンドバーを消音するには、 ボタンを押します。消音を解除するには、再度  ボタンを押すか、音量 (+/-) ボタンを押してください。



消音中は以下のように表示されます。



点滅

お知らせ

サウンドバーの操作部でも同様に操作できます。

- ・  (入力切換) : 再生する機器を選びます。
- ・  /  (音量 +/-) : 音量を調節します。

関連リンク

- ・ 「サラウンドで再生する」 (45ページ)
- ・ 「ステレオで再生する」 (46ページ)
- ・ 「人の声を明瞭に再生する (クリアボイス)」 (48ページ)
- ・ 「豊かな低音を楽しむ (バスエクステンション)」 (49ページ)
- ・ 「Bluetooth®機器の音声を聴く」 (50ページ)

お好みの音に調整する

本製品のサウンド機能について

本製品はサラウンド再生用のサウンドモードとステレオ再生用のサウンドモードを搭載しています。また、各種のサウンド設定で、さらにお好みのサウンドに近づけることができます。

■ サウンドモード

3つのサラウンド再生用のサウンドモードとステレオ再生用のサウンドモードから1つを選んでお楽しみいただけます。

STEREO

ステレオ再生用のサウンドモードです。音楽の再生に適しています。

STANDARD

スポーツ中継などのテレビ番組に適したサラウンド再生用のサウンドモードです。広がりのある音場を再現しつつ、人の声の音像を強調し、聴きとりやすい声を実現します。

3D MOVIE

映画に適したサラウンド再生用のサウンドモードです。三次元的な音場を再現し、包み込まれるようなサウンドの空間を演出します。

GAME

ゲームに適したサラウンド再生用のサウンドモードです。個々の効果音の定位を正確に再現し、強調することで、没入感の高いゲーム体験を実現します。

■ サウンド設定

サウンド設定を使用して、お好みのサウンドに近づけることができます。

クリアボイス

クリアボイスをオンにすると、音量を上げなくても再生音の中の人の声が聞き取りやすくなります。小音量で映画やドラマを楽しむときや、BGMや効果音が多く使われた映画やドラマなどにおすすめします。

再生 > お好みの音に調整する

バスエクステンション

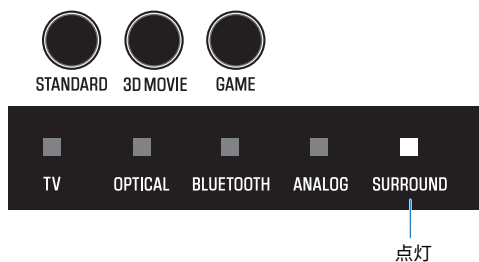
バスエクステンションをオンにすると、低音部の音像が増強されます。全体のサウンドのバランスを崩すことなく、存在感がある、豊かな低音の演奏を楽しめます。

関連リンク

- ・「サラウンドで再生する」(45ページ)
- ・「ステレオで再生する」(46ページ)
- ・「人の声を明瞭に再生する(クリアボイス)」(48ページ)
- ・「豊かな低音を楽しむ(バスエクステンション)」(49ページ)

サラウンドで再生する

STANDARD/3D MOVIE/GAMEの各ボタンを押して、サラウンド再生に切り替えます。視聴する映像や音楽に合わせて、お好みのサウンドモードを選択してください。



関連リンク

「本製品のサウンド機能について」 (43ページ)

ステレオで再生する

STEREOボタンを押して、ステレオ再生（2chステレオ）に切り替えます。



STEREO



消灯

関連リンク

「本製品のサウンド機能について」（43ページ）

サブウーファーの音量を調節する

サブウーファーの音量だけを調節します。

サブウーファー（+/-）ボタンで調節します。



サブウーファー

音量に応じて点灯するランプが変わります。

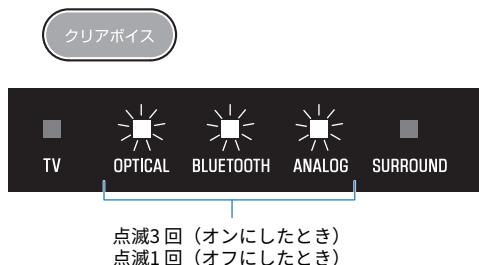


← 音量が下がる（-） 音量が上がる（+） →

人の声を明瞭に再生する（クリアボイス）

クリアボイスをオンにすると、音量を上げなくても再生音の中の人の声が聞き取りやすくなります。小音量で映画やドラマを楽しむときや、BGMや効果音が多く使われた映画やドラマなどにおすすめします。

クリアボイスボタンを押すたびに、オン/オフが切り替わります。



お知らせ

- INFOボタンを押すと、クリアボイスのオン/オフを確認できます。
- クリアボイスは、再生音の中からセリフやナレーションなどの人の声の音像にフォーカスして強調する機能です。全体の音量や周波数特性を変えずに人の声だけを強調し、人の声の定位感も明瞭にします。

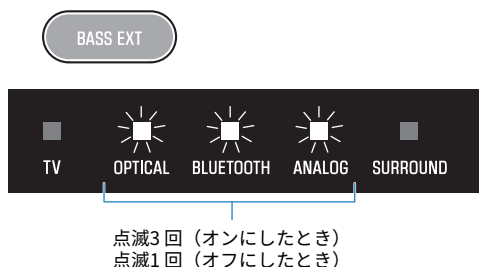
関連リンク

「サウンドバーの設定や音声信号の情報を確認する」（56ページ）

豊かな低音を楽しむ（バスエクステンション）

バスエクステンションをオンにすると、低音部の音像が増強されます。全体のサウンドのバランスを崩すことなく、存在感がある、豊かな低音の演奏を楽しめます。サブウーファースの音量を抑えつつ低音を増強したいときや、低音楽器の響きを強調したいときにおすすめします。

BASS EXTボタンを押すたびに、オン/オフが切り替わります。



お知らせ

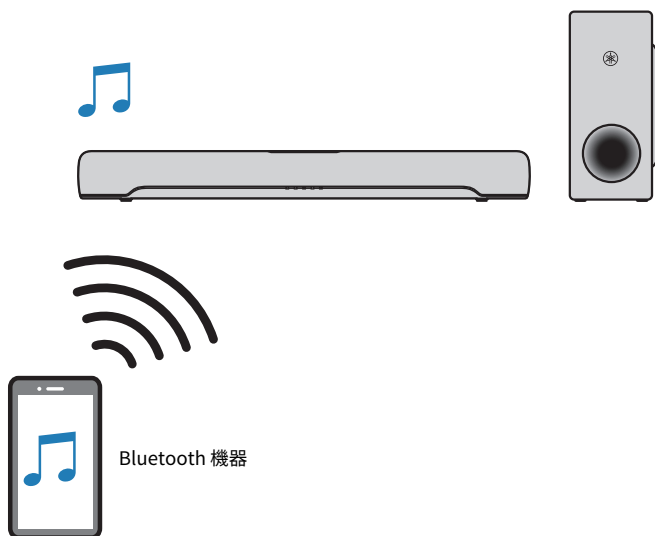
INFOボタンを押すと、バスエクステンションのオン/オフを確認できます。

関連リンク

「サウンドバーの設定や音声信号の情報を確認する」（56ページ）

Bluetooth®機器の音声を聴く

Bluetooth機器の音声をサウンドバーで再生します。



- 1 BLUETOOTHボタンを押して、サウンドバーの入力をBluetoothに切り替える。

BLUETOOTH



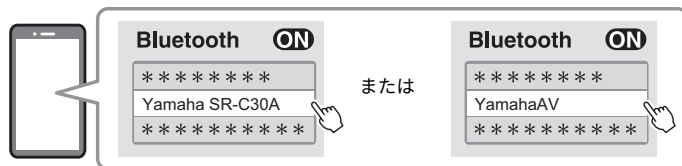
接続待ちの状態になり、BLUETOOTHランプが点滅します。



点滅

- 2 Bluetooth機器のBluetooth機能をオンにする。

3 Bluetooth機器で本製品を選ぶ。



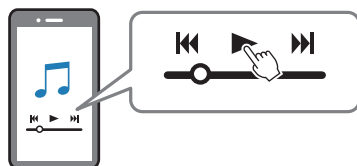
接続が完了すると、サウンドバーのBLUETOOTHランプが点滅から点灯（青）に変わります。



点灯（青）

4 Bluetooth機器で再生を開始する。

サウンドバーから音声が出ます。



お知らせ

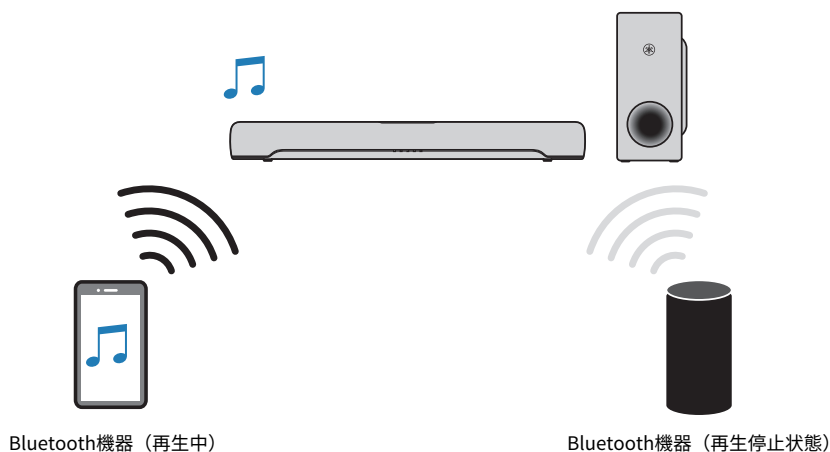
- Bluetooth機器の再生中は「ミュージックエンハンサー」により、オリジナル音源が持つ豊かな音色が再現されます。
- Bluetoothスタンバイ機能により、Bluetooth機器で接続操作したとき、自動的にサウンドバーの電源が入ります。
- 他のBluetooth機器を接続したことがある場合、入力をBluetoothに切り替えると最後に接続した機器に接続します。
- Bluetooth 接続中に次のいずれかの操作を行うと、Bluetooth 接続が切断されます。
 - Bluetooth 機器でBluetooth 機能をオフにする。
 - サウンドバーのリモコンのBLUETOOTHボタンを5秒以上押す。
 - サウンドバーでBluetooth 以外の入力を選択する。
 - サウンドバーの電源をオフにする。
- 必要に応じて、Bluetooth 機器側の音量を調整してください。
- Bluetooth 機器は、サウンドバーから10 mの範囲内で操作してください。

関連リンク

「Bluetoothスタンバイ機能のオン/オフを切り替える」（61ページ）

■ 再生するBluetooth機器を簡単に切り替える（マルチポイント接続）

本製品は2台のBluetooth機器を同時に接続できます。再生するBluetooth機器を簡単に切り替えられます。



再生機器を切り替える手順は次のとおりです。

- 1 Bluetooth機器の再生を停止する。**
- 2 もう1台のBluetooth機器で再生を開始する。**
もう1台のBluetooth機器の音声がサウンドバーから出ます。

お知らせ

新しいBluetooth機器を接続するときは、接続中のBluetooth機器との接続を切断してから、接続してください。

その他の機能

ランプの明るさを調節する（ディマー）

サウンドバーのランプの明るさを「明るい」、「暗い」、「消灯」の3段階で切り替えます。

初期設定は「暗い」です。

- 1 サウンドバーの電源をオンにする。**
- 2 DIMボタンを押す。**



ボタンを押すたびに、「暗い」、「消灯」、「明るい」の順に明るさが切り替わります。

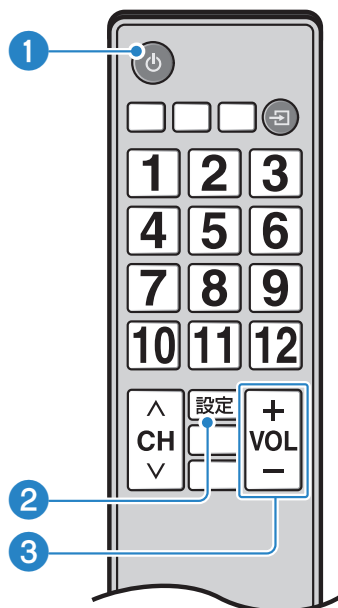
お知らせ

操作直後は明るくなり、数秒間経過すると設定した明るさになります。

テレビのリモコンでサウンドバーを操作する（HDMIコントロール機能）

HDMIケーブルでサウンドバーとテレビを接続すると、テレビのリモコンでサウンドバーを操作できます。これをHDMIコントロール機能と呼びます。

テレビのリモコン（例）



① 電源のオン/オフ

テレビとサウンドバーの電源が連動します。

② 音声を出力する機器の切り替え

音声の出力先をテレビとサウンドバーで切り替えます。操作方法はテレビによって異なります。

③ 音量の調節

テレビの音声の出力先がサウンドバーに設定されている場合は、サウンドバーの音量を調節できます。

関連リンク

「HDMIコントロール機能のオン/オフを切り替える」（58ページ）

ニヶ国語放送の音声を切り替える

BS/地上デジタル放送のモノラル音声多重信号入力時に、再生する音声を選べます。

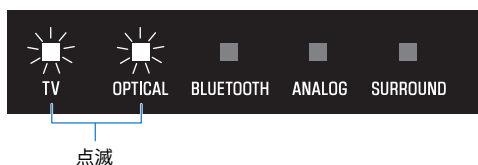
1 音声多重ボタンを5秒以上押す。

音声多重



ボタンを押すたびに、再生する音声は次の順で切り替わります。設定に応じて、サウンドバーのランプが次のように点滅します。

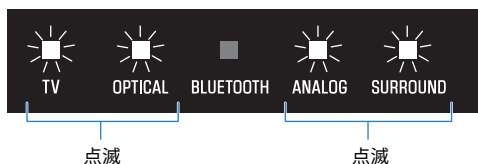
・主音声



・副音声



・主音声＋副音声



お知らせ

次の場合は、音声の切替えができません。

- ・副音声が入力されていない
- ・ステレオ音声多重信号が入力されている
- ・MPEG-2 AAC以外の音声信号が入力されている

サウンドバーの設定や音声信号の情報を確認する

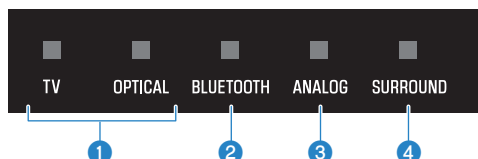
再生中の音声信号の種類やサウンドバーの設定を確認できます。

1 INFOボタンを押す。

音声多重



INFOボタンを押してから3秒間、設定や音声信号の情報がサウンドバーのランプで次のように表示されます。



1 音声信号の種類

TV 点灯（白）：Dolby Digital

OPTICAL 点灯（白）：AAC

TV、OPTICAL 消灯：PCM、アナログまたは入力信号なし

2 ドルビープロロジックII のオン/オフ

点灯：オン

消灯：オフ

お知らせ

ドルビープロロジックII は、2ch ステレオ信号をサラウンドで再生しているとき、自動的にオンになります。

3 バスエクステンション機能のオン/オフ

点灯：オン

消灯：オフ

4 クリアボイス機能のオン/オフ

点灯：オン

消灯：オフ

スマートフォンアプリで操作する

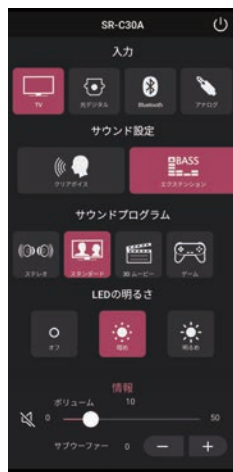
専用の無料アプリ「Sound Bar Remote」をスマートフォンにインストールすると、スマートフォンからもサウンドバーを操作できます。

App StoreまたはGoogle Playで「Sound Bar Remote」を検索して、インストールしてください。



スマートフォンにアプリをインストールした後、Bluetoothでサウンドバーに接続し、アプリを起動してください。

次のようなわかりやすい画面で、サウンドバーの設定状態を確認しながら操作できます。



アプリの詳細については、App StoreまたはGoogle Playのアプリ説明をご覧ください。

お知らせ

- ・本製品は、Sound Bar Remoteのみ対応しています。その他のアプリ（Sound Bar Controllerなど）では操作できません。
- ・アプリでサウンドバーを操作するには、モバイル機器を次のように設定してください。
 - ・Bluetooth機能をオンにする
 - ・（Android11またはそれ以前のOSを搭載した機器の場合）位置情報の取得を許可する。
位置情報はサウンドバーを検出するために使用しています。取得した位置情報をその他の目的には使用しません。
 - ・（Android12またはそれ以降のOSを搭載した機器の場合）付近のデバイスの使用を許可する。

設定

HDMIコントロール機能のオン/オフを切り替える

HDMIコントロール機能をオンにすると、テレビのリモコンでサウンドバーを操作できます。

初期設定は「オン」です。

- 1 サウンドバーの電源をオフにする。
- 2 TVボタンを5秒以上押す。



HDMIコントロール機能のオン/オフが変更されます。
設定状態が次のように表示され、サウンドバーの電源がオンになります。



点灯 (オンにしたとき)
消灯 (オフにしたとき)

お知らせ

ARC対応のHDMI入力端子に接続した場合は、HDMIコントロール機能をオンにしてください。

関連リンク

- ・「テレビをHDMIケーブル（市販品）で接続する」（29ページ）
- ・「テレビのリモコンでサウンドバーを操作できない」（75ページ）

自動スタンバイ機能のオン/オフを切り替える

自動スタンバイ機能をオンにすると、次のいずれかの場合に電源がオフになります。

- 操作がない状態で8時間経過
- 音声入力および操作がない状態で20分経過（ANALOG入力に設定している場合を除く）

初期設定は「オフ」です。

- 1 サウンドバーの電源をオフにする。**
- 2 サウンドバーの $\square$ を押したまま $\odot$ を5秒以上押す。**



自動スタンバイ機能のオン/オフが変更されます。

設定状態が次のように表示され、サウンドバーの電源がオンになります。



点灯（オフにしたとき）

消灯（オンにしたとき）

チャイルドロック機能のオン/オフを切り替える

操作部をロックして、誤操作を防止します（チャイルドロック機能）。

初期設定は「オフ（ロック解除）」です。

1 サウンドバーの電源をオフにする。

2 INFOボタンを5秒以上押す。

音声多重



チャイルドロック機能のオン/オフが変更されます。

設定状態が次のように表示され、サウンドバーの電源がオンになります。



点灯（オン（ロック）にしたとき）

消灯（オフ（ロック解除）にしたとき）

Bluetoothスタンバイ機能のオン/オフを切り替える

Bluetoothスタンバイをオンにすると、Bluetooth機器からサウンドバーに接続したとき、自動的にサウンドバーの電源がオンになります。

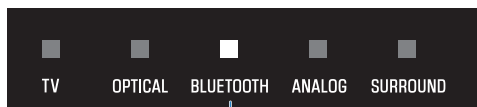
初期設定は「オン」です。

- 1 サウンドバーの電源をオフにする。
- 2 BLUETOOTHボタンを5秒以上押す。



Bluetoothスタンバイ機能のオン/オフが変更されます。

設定状態が次のように表示され、サウンドバーの電源がオンになります。



点灯（オンにしたとき）
消灯（オフにしたとき）

Bluetooth 機能のオン/オフを切り替える

Bluetooth機能をオフにできます。

初期設定は「オン」です。

1 サウンドバーの電源をオフにする。

2 DIMボタンを5秒以上押す。



Bluetooth機能のオン/オフが変更されます。

設定状態が次のように表示され、サウンドバーの電源がオンになります。



点灯（オンにしたとき）
消灯（オフにしたとき）

ダイナミックレンジの圧縮レベルを設定する

音声信号のダイナミックレンジ（最大音量と最小音量の幅）を圧縮すると、小音量でも聴きやすくなります。この設定はドルビーデジタル音声信号の再生時のみ有効です。
初期設定は「圧縮しない」です。

- 1 サウンドバーの電源をオフにする。
- 2 次のボタンを5秒以上押す。

圧縮レベル	機能	リモコンのボタン
圧縮する（大）	最大のダイナミックレンジ圧縮を適用します。	 STANDARD
圧縮する（標準）	一般的な部屋での視聴に合ったダイナミックレンジ圧縮を適用します。	 3D MOVIE
圧縮しない	ダイナミックレンジ圧縮を適用しません。	 GAME

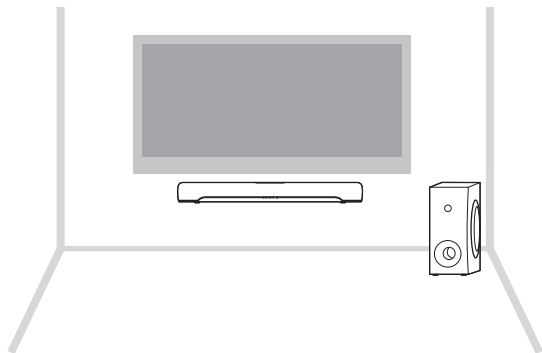
ダイナミックレンジ圧縮レベルの設定が変更されます。
設定状態が次のように表示され、サウンドバーの電源がオンになります。

圧縮レベル	サウンドバーのランプ表示
圧縮する（大）	 TV OPTICAL BLUETOOTH ANALOG SURROUND 点灯（赤）
圧縮する（標準）	 TV OPTICAL BLUETOOTH ANALOG SURROUND 点灯（白）
圧縮しない	 TV OPTICAL BLUETOOTH ANALOG SURROUND 点灯（白）

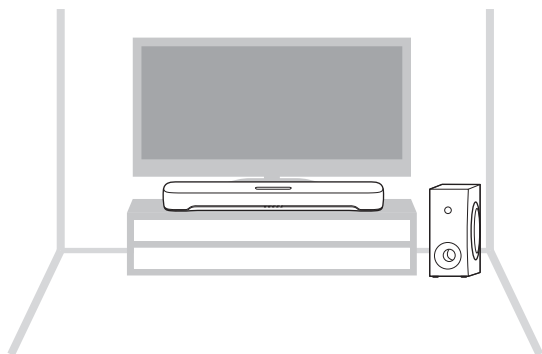
設置方法に適した音の周波数特性に設定する

サウンドバーの音の周波数特性を切り替えて、設置状態に適したサウンドに設定します。
初期設定は「台の上に置く」です。

壁に掛ける



台の上に置く



- 1 サウンドバーの電源をオフにする。

設定 > 設置方法に適した音の周波数特性に設定する

2 設置方法に応じて、リモコンの次のボタンを5秒以上押す。

- 壁に掛ける場合



- 台の上に置く場合



周波数特性の設定が変更されます。

設定状態が次のように表示され、サウンドバーの電源がオンになります。

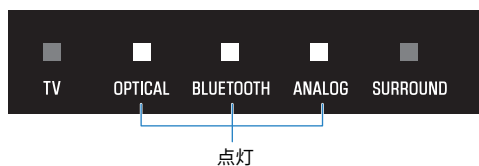
壁に掛ける場合

サウンドバーのランプ表示



台の上に置く場合

サウンドバーのランプ表示



設定を初期化する

サウンドバーの設定をすべて初期化します。

- 1** サウンドバーの電源をオフにする。
- 2** すべてのランプが点滅するまで、サウンドバーの🔊を押したまま🔌を押す。



初期化が行われ、完了すると次のように表示されます。



点滅（初期化完了）

よくあるご質問

困ったときに最初に確認すること

ご使用中に本製品が正常に動作しなくなった場合は、最初に次の点を確認してください。

- すべての機器の電源プラグがACコンセントにしっかりと接続されている。
- 本製品、テレビ、AV機器の電源がオンになっている。
- 各機器間のケーブルが端子にしっかりと接続されている。

関連リンク

「サポート窓口一覧」 (101ページ)

困ったときは（電源/動作全般）

電源が突然オフになる

●自動スタンバイ機能により電源がオフになった。

自動スタンバイ機能がオンに設定されている場合は、次のいずれかの条件で自動的に電源がオフになります。

- ・操作がない状態で8時間経過
- ・音声入力および操作がない状態で20分経過（ANALOG入力に設定している場合を除く）

もう一度電源をオンにしてください。自動スタンバイ機能はオフにすることもできます。

- ・「自動スタンバイ機能のオン/オフを切り替える」（59ページ）

●保護回路が作動した（サウンドバーのTVランプが赤で点滅します）。

接続が正しいことを確認したあとで、もう一度電源をオンにしてください。たびたび電源がオフになる場合は、電源プラグをコンセントから抜き、修理ご相談センターにお問い合わせください。

- ・「サポート窓口一覧」（101ページ）

電源がオンにならない

● 保護回路が3回続けて作動した。

製品保護のため、電源がオンにならなくなります。電源プラグをコンセントから抜き、修理ご相談センターにお問い合わせください。

- ・「サポート窓口一覧」（101ページ）

サウンドバーの操作部で操作ができない

● 操作部がロックされている。

操作部のロックを解除してください。

- ・「チャイルドロック機能のオン/オフを切り替える」（60ページ）

電源がオンのときにランプがすべて消灯している（電源オフのように見える）

- ランプの明るさが「消灯」になっている。

お好みの明るさを選択してください。

- ・ 「ランプの明るさを調節する（ディマー）」（53ページ）

サウンドバーが正常に動作しない

- **外部電気ショック（落雷、過度の静電気など）や、電源電圧の低下により、内部マイコンがフリーズしている。**
 - ・ サウンドバーとサブウーファースの電源プラグをコンセントから抜き、10秒以上経過してから接続し直してください。

操作をしていないのにサウンドバーの電源がオンになる

● 近くで、別のBluetooth機器が使用されている。

Bluetooth接続を切断してください。

- ・「Bluetooth®機器の音声を聴く」（50ページ）

リモコンでサウンドバーを操作できない

- **操作範囲から外れている。**

リモコンの操作範囲内で操作してください。

- ・「リモコンの各部名称」（15ページ）

- **電池が消耗している。**

新しい電池に交換してください。

- ・「リモコンの電池を交換したい」（87ページ）

- **サウンドバーのリモコン受光部に日光や強い照明が当たっている。**

照明、またはサウンドバーの向きを変えてください。

テレビのリモコンでサウンドバーを操作できない

● HDMIコントロール機能が正しく設定されていない。

次のように設定されているか、確認してください。

- ・ サウンドバーのHDMIコントロール機能がオンになっている
- ・ テレビのHDMIコントロール機能がオンになっている
- ・ テレビのHDMIに関する設定で、音声出力先がテレビの内蔵スピーカー以外に設定されている

それでもテレビのリモコンで操作できない場合は、次を実行してください。

- ・ サウンドバーおよびテレビの電源を一度オフにしてからオンにする
- ・ サウンドバーおよびHDMI接続している機器の電源プラグをコンセントからはずし、30秒ほど経ってから、接続し直す

関連リンク

「HDMIコントロール機能のオン/オフを切り替える」（58ページ）

● テレビがサウンドバーの操作に対応していない。

HDMIコントロール機能に対応しているテレビでも、一部の機能が操作できないことがあります。詳しくはテレビに付属の取扱説明書をご覧ください。

困ったときは（音声）

音が出ない

● **再生したい入力選ばれていない。**

正しい入力を選んでください。

- ・「再生時の基本操作」（41ページ）

● **消音されている。**

消音を解除してください。

- ・「再生時の基本操作」（41ページ）

● **音量が小さい。**

音量を上げてください。

- ・「再生時の基本操作」（41ページ）

● **サウンドバーの電源コードがしっかり接続されていない。**

サウンドバーの電源コードが正しくコンセントに接続されていることを確認してください。

● **入力端子同士を接続している。**

サウンドバーの入力端子とAV機器の出力端子を接続してください。

● **サウンドバーで再生できない信号が入力されている。**

テレビまたはAV機器側のデジタル音声出力を、本製品が対応している音声信号に設定してください。

- ・「対応しているデジタル音声信号フォーマット」（94ページ）

● **HDMIコントロール機能がオフに設定されている。**

ARC（オーディオリターンチャンネル）対応のテレビとサウンドバーをHDMIケーブルのみで接続する場合は、HDMIコントロール機能をオンに設定してください。

HDMIコントロール機能をオフにしたままサウンドバーで音声を再生するには、サウンドバーのTV端子（光デジタル）とテレビの光デジタル音声出力端子を光デジタルケーブルで接続してください。

- ・「HDMIコントロール機能のオン/オフを切り替える」（58ページ）
- ・「テレビをHDMIケーブル（市販品）で接続する」（29ページ）

● **HDMIコントロール機能を使用しているテレビの音声出力先が、テレビの内蔵スピーカーになっている。**

テレビのHDMIに関する設定で、音声出力先をテレビの内蔵スピーカー以外に切り替えてください。

サブウーファーから音が出ない

- **再生している音声にサブウーファーチャンネルの信号や低音信号が含まれていない。**
サブウーファーチャンネルの信号が含まれているソフトを再生して、サブウーファーから音が出ることを確認ください。
- **サブウーファーの音量が小さい。**
サブウーファーの音量を上げてください。
 - ・「サブウーファーの音量を調節する」（47ページ）
- **サブウーファーの電源プラグがコンセントに接続されていない。**
サブウーファーの電源プラグをコンセントに接続してください。
- **保護回路が作動した（サブウーファーのSTANDBYランプと㊦ランプが両方点滅します）。**
製品保護のため、サブウーファーの電源が入らなくなります。電源プラグをコンセントから抜き、修理ご相談センターにお問い合わせください。
- **サブウーファーの㊦ランプが点滅している。**
無線の通信状態が悪く、サウンドバーと接続できません。次のように対処してください。
 - ・サブウーファーをサウンドバーに近づけてください。
 - ・サウンドバーとサブウーファーの間が金属製の家具などで遮られている場合はレイアウトを変更するか、サブウーファーの位置を変えてください。
 - ・近くに電子レンジや無線LAN 機器など、電磁波を発するものがある場合は、それらのものから離れたところに設置してください。
- **サブウーファーがサウンドバーとのペアリング待ち受け状態になっている（サブウーファーのSTANDBYランプが点滅します）。**
サブウーファーの音がこれまで問題なく出ていた場合：
誤ってサブウーファーのPAIRINGボタンが押されたため、ペアリング状態になってしまいました。
サブウーファーの電源プラグをコンセントから抜き、5秒以上経過してからもう一度コンセントに接続してください。サウンドバーの電源をオンにすれば通常どおりお使いいただけます。
ペアリング操作を行ったあとでこの状態になった場合：
ペアリングが失敗しました。
サブウーファーの電源プラグをコンセントから抜き、5秒以上経過してからもう一度コンセントに接続してください。サウンドバーとサブウーファーの設置状態を確認したあと、もう一度手動でペアリングしてください。
 - ・「サウンドバーとサブウーファーが自動でペアリングされなかったときの対応」（88ページ）

電源をオンにし直すと音量が下がる

● 音量自動調節機能により音量が下がった。

本製品は、突然大音量が出力されるのを防ぐため、音量自動調節機能を搭載しています。音量が大きい状態で電源をオフにした場合、次回電源がオンになったときは自動的に安全な音量に設定されます。必要に応じて、音量を上げてください。

- ・「再生時の基本操作」（41ページ）

サラウンド感が得られない

- **ステレオ再生にしている。**

サラウンド再生に切り替えてください。

- ・「サラウンドで再生する」（45ページ）

- **音量が小さい。**

音量を上げてください。

- ・「再生時の基本操作」（41ページ）

- **テレビ、またはAV機器が常に2チャンネル（PCMなど）で出力するように設定されている。**

テレビまたはAV機器の設定を、ビットストリーム音声信号が出力されるように変更してください。

- **テレビのスピーカーからも音が出ている。**

テレビの音量を最小にしてください。

- **視聴位置がサウンドバーに極端に近過ぎる。**

ある程度、離れた位置で視聴してください。

よくあるご質問> 困ったときは（音声）

雑音が入る

- **デジタル機器や高周波機器がサウンドバーの近くに置かれている。**
サウンドバーとそれらの機器を離して設置してください。

困ったときは (Bluetooth®)

Bluetooth®機器と接続できない

- **サウンドバーの入力がBluetooth以外になっている。**
入力をBluetoothにしてください。
 - ・「Bluetooth®機器の音声を聴く」 (50ページ)
- **サウンドバーとBluetooth機器の距離が離れすぎている。**
サウンドバーとBluetooth機器を近づけてください。
- **電磁波を発する機器（電子レンジ、無線機器など）がそばにある。**
電磁波を発生する機器の近くで使用しないでください。
- **お使いのBluetooth機器がA2DPプロファイルに対応していない。**
A2DPプロファイル対応のBluetooth機器をお使いください。
- **Bluetooth機器に登録されている接続情報が正しく機能していない。**
Bluetooth機器の接続情報を削除してから、サウンドバーとBluetooth機器を接続してください。
- **Bluetoothアダプターなどの機器でパスキーが「0000」以外になっている。**
パスキーが「0000」の機器をお使いください。
- **サウンドバーと別のBluetooth機器が接続している（初めて接続するBluetooth機器の場合）。**
Bluetooth機器の接続を切断してから、新しいBluetooth機器を接続してください。
- **すでに2台のBluetooth機器が接続している（一度本製品と接続したことがあるBluetooth機器の場合）**
接続中のBluetooth機器のうちどちらかの接続を切断してから、別のBluetooth機器を接続してください。
- **サウンドバーのBluetooth機能がオフになっている**
Bluetooth機能をオンにしてください。
 - ・「Bluetooth 機能のオン/オフを切り替える」 (62ページ)

Bluetooth®接続時に音が出ない、または音が途切れる

- **Bluetooth機器の音量が小さすぎる。**

Bluetooth機器の音量を上げてください。

- **サウンドバーの入力がBluetooth以外になっている。**

入力をBluetoothにしてください。

・「Bluetooth®機器の音声を聴く」 (50ページ)

- **Bluetooth機器を再生していない。**

Bluetooth機器を再生してください。

- **Bluetooth機器の音声出力先が本製品になっていない。**

Bluetooth機器を操作し、音声出力先として本製品を選択してください。

- **Bluetooth接続が切断された。**

再度Bluetooth接続を行ってください。

- **サウンドバーとBluetooth機器の距離が離れすぎている。**

Bluetooth機器をサウンドバーの近くに移動してください。

- **電磁波を発する機器（電子レンジ、無線機器など）がそばにある。**

電磁波を発生する機器の近くで使用しないでください。

- **別のBluetooth機器が再生している。**

再生を停止して、もう1台のBluetooth機器で再生してください。

困ったときは（アプリ）

アプリでサウンドバーを検出できない

- **本製品非対応のアプリを使用している。**

本製品はSound Bar Remoteのみ対応しています。Sound Bar Controller、Home Theater ControllerおよびMusicCast Controllerは使用できません。

- **モバイル機器のBluetooth機能がオフになっている。**

モバイル機器のBluetooth機能をオンにしてください。

- **Android機器の位置情報を取得する機能がオフになっている。**

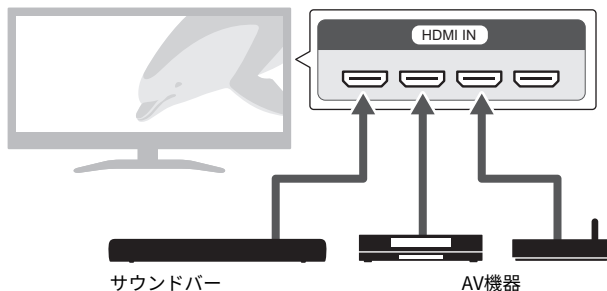
Sound Bar Remoteは、サウンドバーを検出するためにAndroid機器の位置情報を使用します。Android機器のOSを確認し、次のように設定してください。

- ・（Android11またはそれ以前のOSを搭載した機器の場合）位置情報の取得を許可する。
- ・（Android12またはそれ以降のOSを搭載した機器の場合）付近のデバイスの使用を許可する。

その他のご質問

ブルーレイディスクプレーヤーなどのAV機器を接続したい

ブルーレイディスクプレーヤーやメディアストリーミング端末などのAV機器は、テレビのHDMI入力端子に接続してください。



テレビやAV機器の音声を出力する場合は、次のように入力を設定してください。

- ・ サウンドバーの入力：TV
- ・ テレビの入力切換：再生するAV機器

待機時消費電力を最小にしたい

次のように設定を変更してください。

- HDMIコントロール：「オフ」
- Bluetoothスタンバイ：「オフ」

関連リンク

- 「HDMIコントロール機能のオン/オフを切り替える」 (58ページ)
- 「Bluetoothスタンバイ機能のオン/オフを切り替える」 (61ページ)

リモコンの電池に関する注意事項

リモコンの電池を交換する前に、次の注意事項を必ずお読みください。注意事項は必ずお守りください。



警告

- 本製品に付属するリモコンはコイン/ボタン電池を内蔵しています。コイン/ボタン電池を飲み込まないでください。使用済みを含む、すべてのコイン/ボタン電池を乳幼児の手の届くところに置かないでください。電池ケースが破損したリモコンを乳幼児の手の届くところに置かないでください。コイン/ボタン電池を飲み込んだ場合、2時間以内に深刻な化学やけどや体内組織の融解が発生し、死亡する可能性があります。万一、コイン/ボタン電池を飲み込んでしまった可能性がある場合は、すぐに医師にご相談ください。
- 電池を火の中に入れないでください。電池を日光や火のような高温に晒さないでください。リモコン（付属）に入っている電池を充電しないでください。破裂や液漏れにより、火災やけがの原因になります。
- 電池を分解しないでください。電池が液漏れした場合は、漏れた液に触れないでください。電池の中のものに触れたりすると、失明や化学やけどの原因になります。万一液が目や口に入ったり皮膚についたりした場合は、すぐに水で洗い流し、医師にご相談ください。



注意

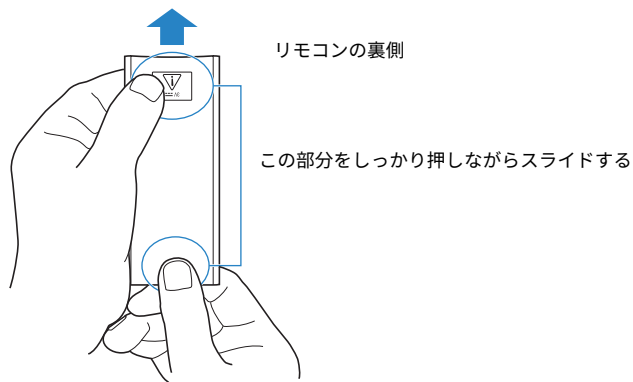
- 指定以外の電池を使用しないでください。火災、やけど、または液漏れによる炎症の原因になります。
- 電池は+/-の極性表示どおりに正しく入れてください。正しく入れていない場合、火災、やけど、または液漏れによる炎症の原因になります。
- 長時間使用しない場合や電池を使い切った場合は、電池をリモコンから抜いてください。電池が消耗した結果、電池から液漏れが発生して、炎症やリモコンの損傷の原因になります。
- 電池と金属片をいっしょにポケットやバッグなどに入れて携帯、保管しないでください。電池がショートし、破裂や液漏れにより、火災やけがの原因になります。
- 電池を保管する場合および廃棄する場合には、テープなどで端子部を絶縁してください。他の電池や金属製のものと混ぜると、火災、やけど、または液漏れによる炎症の原因になります。

リモコンの電池を交換したい

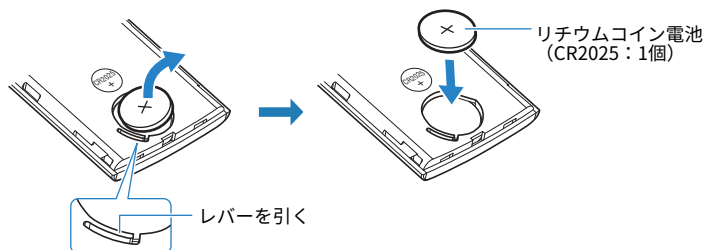
- 電池を交換する前に次の注意事項をお読みください。
- ・「リモコンの電池に関する注意事項」(86ページ)

電池が消耗するとリモコンでサウンドバーを操作できなくなります。新しい電池に交換してください。

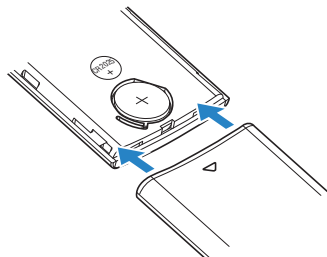
1 フタを矢印の方向にスライドして外す。



2 古い電池を取り出して新しい電池を入れる。



3 フタを矢印の方向にスライドして戻す。



サウンドバーとサブウーファーが自動でペアリングされなかったときの対応

通常、サウンドバーとサブウーファーは自動でペアリングされますが、一時的な通信障害などにより自動でペアリングされなかった場合は、手動でペアリングを行ってください。

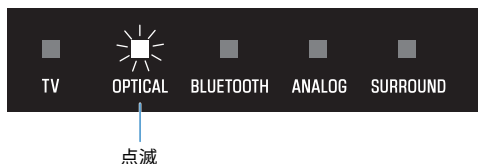
お知らせ

ペアリングとは、サウンドバーとサブウーファーを相互の接続先として認識させることです。

1 サウンドバーの電源をオフにする。

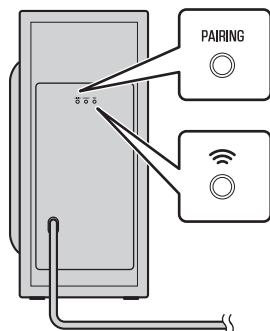
2 リモコンのサブウーファー（－）ボタンを5秒以上押す。

サウンドバーの電源がオンになり、サウンドバーのOPTICALランプが点滅します。



3 30秒以内にサブウーファー背面のPAIRINGボタンを5秒以上押す。

サウンドバーとサブウーファーが正常にペアリングされると、ランプが点灯します。



上記の操作を行ってもサブウーファーのランプが点灯しない場合は、次のようにしたあとで、もう一度手動でペアリングを行ってください。

・サウンドバーとサブウーファーを近づけてください。

よくあるご質問>その他のご質問

- サウンドバーとサブウーファーを、互いに金属製の家具などで遮られない位置に設置してください。
- 近くに電子レンジや無線LAN 機器など、電磁波を発するものがある場合は、それらのものから離れたところに設置してください。

サウンドバーをリセットしたい

次のような操作で、サウンドバーをリセットします。

■ 再起動させたい場合

サウンドバーとサブウーファーの電源プラグをコンセントから抜いたあと、10秒以上経過してからもう一度接続して、電源をオンにしてください。

■ 設定を初期化したい場合

次の説明を参照して、設定を初期化してください。

「設定を初期化する」 (66ページ)

付録

主な仕様

本製品の主な仕様は次のとおりです。

■ サウンドバー

アンプ部

実用最大出力（非同時駆動、JEITA）	
・ フロントL/R	20 W×2 ch

スピーカー部

フロントL/R	
・ 形式	密閉型（非防磁）
・ スピーカーユニット	4.6 cm コーン ×2
・ 再生周波数帯域	210 Hz ～ 22 kHz
・ インピーダンス	6Ω

デコーダー部

対応音声信号	PCM（2 chまで）
（HDMI（ARC） /光デジタル）	Dolby Digital（5.1 chまで）
	MPEG-2 AAC（5.1 chまで）

入力端子

光デジタル	2（TV、OPTICAL）
アナログ（3.5 mm ステレオミニ）	1（ANALOG）

出力端子

HDMI	1（HDMI OUT/TV（ARC））
------	---------------------

その他の端子

USB	1 (UPDATE ONLY)
-----	-----------------

Bluetooth

受信動作	他機器からの受信機能
Bluetoothバージョン	Ver 5.0
対応プロファイル	A2DP
対応コーデック	受信：SBC、AAC
Bluetoothクラス	Bluetooth Class 1
見通し通信距離	約10 m
対応コンテンツ保護	SCMS-T 方式（受信時）

総合

電源電圧	AC 100 V ～ 120 V、50/60 Hz
消費電力（ACアダプター出力電圧/電流）	20 V/2.1 A
待機時消費電力	
・ HDMIコントロール、Bluetoothスタンバイ：オフ	0.3 W
・ HDMIコントロール、Bluetoothスタンバイ：オン	0.5 W
寸法（幅 × 高さ × 奥行き）	
・ テレビの前などに設置	600 x 64 x 94 mm
・ 壁掛け設置、スペーサーあり	600 x 64 x 102 mm
質量	1.3 kg

お知らせ

この説明は、発行時点の最新仕様に基づいて記載しています。最新版は、ヤマハウェブサイトからダウンロードしてご覧ください。

■ サブウーファー

アンプ部

実用最大出力	50 W
--------	------

スピーカー部

・ 形式	バスレフ型（非防磁）
・ ユニット	13 cm コーン ×1
・ 再生周波数帯域	40 Hz ～ 210 Hz
・ インピーダンス	3 Ω

無線機能（サウンドバーとの通信）

・ 無線周波数帯域	2.4 GHz
・ 最大通信距離	約10 m（妨害がないとき）

総合

電源電圧	AC 100 V ～ 120 V、50/60 Hz
消費電力	20 W
待機時消費電力	0.8 W
寸法（幅 × 高さ × 奥行き）	
・ 縦置き時、滑り止めパッドあり	160 x 337 x 364 mm
・ 横置き時、滑り止めパッドあり	335 x 162 x 364 mm
質量	5.7 kg

お知らせ

この説明は、発行時点の最新仕様に基づいて記載しています。最新版は、ヤマハウェブサイトからダウンロードしてご覧ください。

対応しているデジタル音声信号フォーマット

本製品が対応しているデジタル音声信号です。

TV、OPTICAL、TV (ARC)

音声フォーマット	詳細
2チャンネルリニアPCM	2 ch、32 / 44.1 / 48 / 88.2 / 96 kHz、最大24 bit
ビットストリーム	Dolby Digital、MPEG-2 AAC

お知らせ

この説明は、発行時点の最新仕様に基づいて記載しています。最新版は、ヤマハウェブサイトからダウンロードしてご覧ください。

主なランプ表示一覧

本製品の主なランプ表示は次のとおりです。

■ サウンドバーのランプ表示

お知らせ

本説明では、ランプの点灯状態を次のように表示します。



消灯



点灯

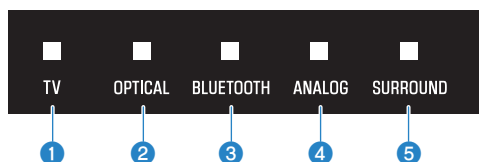


点滅

電源オフ状態



通常の再生状態



① TV

点灯：テレビの音声を再生中

② OPTICAL

点灯：OPTICAL入力端子の音声を再生中

③ BLUETOOTH

点灯（青）：Bluetooth機器接続完了

点滅（白）：Bluetooth機器の接続待ち受け状態

④ ANALOG

点灯：ANALOG入力端子の音声を再生中

5 SURROUND

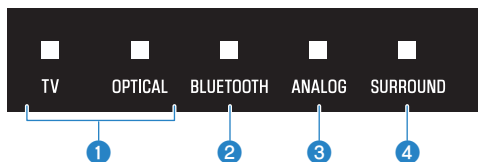
点灯（白）：サラウンド再生

消灯：ステレオ再生

サウンドバーの設定と音声信号の表示

INFOボタンを押してから3秒間、設定や音声信号の情報がサウンドバーのランプで次のように表示されます。

音声多重



1 音声信号の種類

TV 点灯（白）：Dolby Digital

OPTICAL 点灯（白）：AAC

TV、OPTICAL 消灯：PCM、アナログまたは入力信号なし

2 ドルビープロロジックII のオン/オフ

点灯：オン

消灯：オフ

お知らせ

ドルビープロロジックII は、2ch ステレオ信号をサラウンドで再生しているとき、自動的にオンになります。

3 バスエクステンション機能のオン/オフ

点灯：オン

消灯：オフ

4 クリアボイス機能のオン/オフ

点灯：オン

消灯：オフ

消音状態



異常が発生した



点滅（赤）

お知らせ

- ・ランプの明るさを「消灯」に設定している場合、操作中のみランプが点灯します。
- ・設定変更時の表示については、各設定の説明をご覧ください。

関連リンク

- ・「再生時の基本操作」（41ページ）
- ・「サウンドバーの設定や音声信号の情報を確認する」（56ページ）
- ・「ランプの明るさを調節する（ディマー）」（53ページ）
- ・「困ったときは（電源/動作全般）」（68ページ）

■ サブウーファーのランプ表示

お知らせ

本説明では、ランプの点灯状態を次のように表示します。



消灯



点灯



点滅

電源オン



電源オフ



サウンドバーとの接続を確立中



サウンドバーとのペアリング待ち受け状態



異常が発生したため、保護回路が作動した



商標



Dolby、Dolby Audio、Pro Logic、ドルビーおよびダブル D 記号はドルビーラボラトリーズライセンシングコーポレーションの商標です。

本製品はドルビーラボラトリーズのライセンスに基づき製造しています。

非公開機密著作物。著作権 2012–2021 年 ドルビーラボラトリーズ。不許複製。



HIGH-DEFINITION MULTIMEDIA INTERFACE

HDMI、High-Definition Multimedia Interface、およびHDMIロゴは、米国およびその他の国におけるHDMI Licensing Administrator, Inc. の商標または、登録商標です。



Bluetooth®ワードマークおよびロゴは登録商標であり、Bluetooth SIG, Inc. が所有権を有します。ヤマハ株式会社は使用許諾の下でこれらのマークおよびロゴを使用しています。その他の商標および登録商標は、それぞれの所有者の商標および登録商標です。

サードパーティー製ソフトウェアプログラムについて

本製品は、サードパーティー製ソフトウェアプログラムを使用しています。

使用しているサードパーティー製ソフトウェアプログラムの著作権、使用許諾条件につきましては、次のウェブサイトをご覧ください。

<https://manual.yamaha.com/av/cm/sla/22/src30a/>

サポート窓口一覧

問題が解決しない場合は、次の窓口にお問い合わせください。

日本国内のお客様

- お買い上げ店、または同梱の「安全上のご注意」掲載の「お問い合わせ窓口」までお問い合わせください。

日本以外の地域のお客様

- お近くのヤマハ正規ディーラーまたはサービスセンターまでお問い合わせください。
<https://manual.yamaha.com/av/support/>

Yamaha Global Site
<https://www.yamaha.com/>

Yamaha Downloads
<https://download.yamaha.com/>

© 2022 Yamaha Corporation

2022 年5月発行 NV-A0

AV21-0114